

研修費（市民連合）出張報告書

令和 5 年 6 月 20 日

氏名	研修会等題名
濱岡 歳生	第28回地方から考える 社会保障フォーラム
期間 令和 5年 5月 7日から 令和 5年 5月 8日まで	研修会等会場（市区町村名） 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F AP 東京丸の内

研修会概要・意見等

講義／「特別養護老人ホーム施設長として地方自治体に望むこと」
社会福祉法人翠生会本部長、元厚生労働省健康局長 西山正徳氏

- 今日の課題
 - 介護人材不足が最大の課題
 - 自分自身が介護を受けたい場所
- 1位：現在の住まい
- 2位 特別養護老人ホームや老人保健施設など
 - 最期を迎えたい場所 54.6%が自宅
- 2040年-高齢者総数が5,935万人となりピークを迎える。
- 介護人材の確保が重要な課題

講義2 介護保険制度とめぐる動き

厚生労働省 老健局 総務課 林俊宏課長

- ・介護保険制度は、その創設から2年が経ち、サービス利用者は制度創設時の3倍を超え、介護サービスの提供事業所数も着実に増加し、介護が必要な高齢者の生活の支えとして定着、発展してきている。こうした状況の中で、要介護状態等の軽減・悪化の防止といった制度の理念を堅持し、必要なサービスを提供していくと同時に、介合付と負担のバランスを(回りつつ)、保険料公費及び利用者負担の適切な組み合わせにより、制度の持続可能性を高めていくことが重要な課題となっている。

講義3 持続可能な社会保障のための地方議員の役割」とは 株式会社 Ridilover 一般社団法人リデラバ代表 安部敏樹氏

- ・高齢化や核家族によることが“わかつ”ていたのに、40年ほど前に中長期的なビジョンをもたず特例として保育園や老人ホームを定義してしまったことが問題
- ・多くの棲家となる介護施設を高齢者が“自分で”選べる機会を持てない、現代の施設選択はおかしい
- ・年金が制度化されたときの平均寿命は66歳くらいだった。現代に置き換えて考えれば、受給開始年齢の理想は80歳
- ・高齢者と若者が“いがみ合っても何も生まれない”。みんなが頑張つてその代わり、それほど嫌な思いをせず、適正な社会に残す戻すのが理想



2023年

5月8日(月)

西山 正徳 氏

社会福祉法人翠生会本部長、一般社団法人メディカル・プラットホーム・エイシア代表理事、株式会社国際医療戦略研究所代表取締役、元厚生労働省健康局長

林 俊宏 氏

厚生労働省老健局総務課長

安部 敏樹 氏

株式会社 Ridilover、一般社団法人リティラバ代表。2017年、Forbes 誌が選ぶ「アジアを代表する 30 歳以下の社会起業家 30 人」に選出される。朝のTV情報番組モーニングショーのコメンテーターをはじめ、メディア多数出演。

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場参加：25,000円（消費税込）・オンライン参加：5,000円（消費税込）
を5月1日(月)までにお振込みください

【会場参加の方】(賃金議室) AP東京丸の内
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F
TEL: 03-5224-5109 FAX: 03-5224-6109
東京メトロ半蔵門線、三鷹門線・新宿地下鉄三鷹線「大手町駅」C6出口直結・JR線・東京メトロ丸ノ内線「東京駅」より徒歩6分

【オンライン参加の方】 まずは Zoom のワーキング機能を活用したセミナーを実験していただきます。ウェビナーによるミーティング機能と異なり、聴講者の方のカメラや音声は通常ではオフになってしまっており、ご質問時のみのみのカメラと音声をオンにできる機能です。PC・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。
詳しくは事務局にお問い合わせください。

